

三木市山田錦生産地域 就農・定着応援プラン

作成年月日 令和7年8月29日
(改訂年月日 年 月 日)

チーム名	三木市山田錦生産地域 就農・定着応援チーム ＜チーム構成＞ 吉川町山田錦村米部会（事務局：JAみのり 吉川営農経済センター） 三木・別所山田錦部会（事務局：JAみのり 三木営農経済センター） 三木山田錦部会（事務局：JA兵庫みらい 三木営農生活センター）
------	---

地域の概要

三木市山田錦生産地域はこのような地域です

1 位置

三木市は兵庫県の南東部にあり、東経135度の日本標準時子午線上に位置し、北部は三田市・加東市・小野市、西部は加古川市・稲美町、南東部は神戸市に接しています。

山田錦生産地域は、市内全域に渡っており、三木市の主要な特産品となっています。

2 人口

三木市の世帯数34,436世帯、人口75,009人です（令和4年時点）。

3 気候

温暖で降水量の比較的少ない瀬戸内式気候に属しており、年間平均気温は15.1度と1年を通して温暖で過ごしやすい気候です。

瀬戸内海式気候の中でも、気温日較差（1日の最低気温と最高気温の差）が大きいこと、米の登熟や酒米に求められる心白の発現に最適な気象条件を持つ地域です。

4 三木市山田錦生産地域の農業

水田では、主に水稻単作となっており、その多くで酒米「山田錦」の生産が行われ、生産量は全国の約15%を占める日本最大の産地となっています。

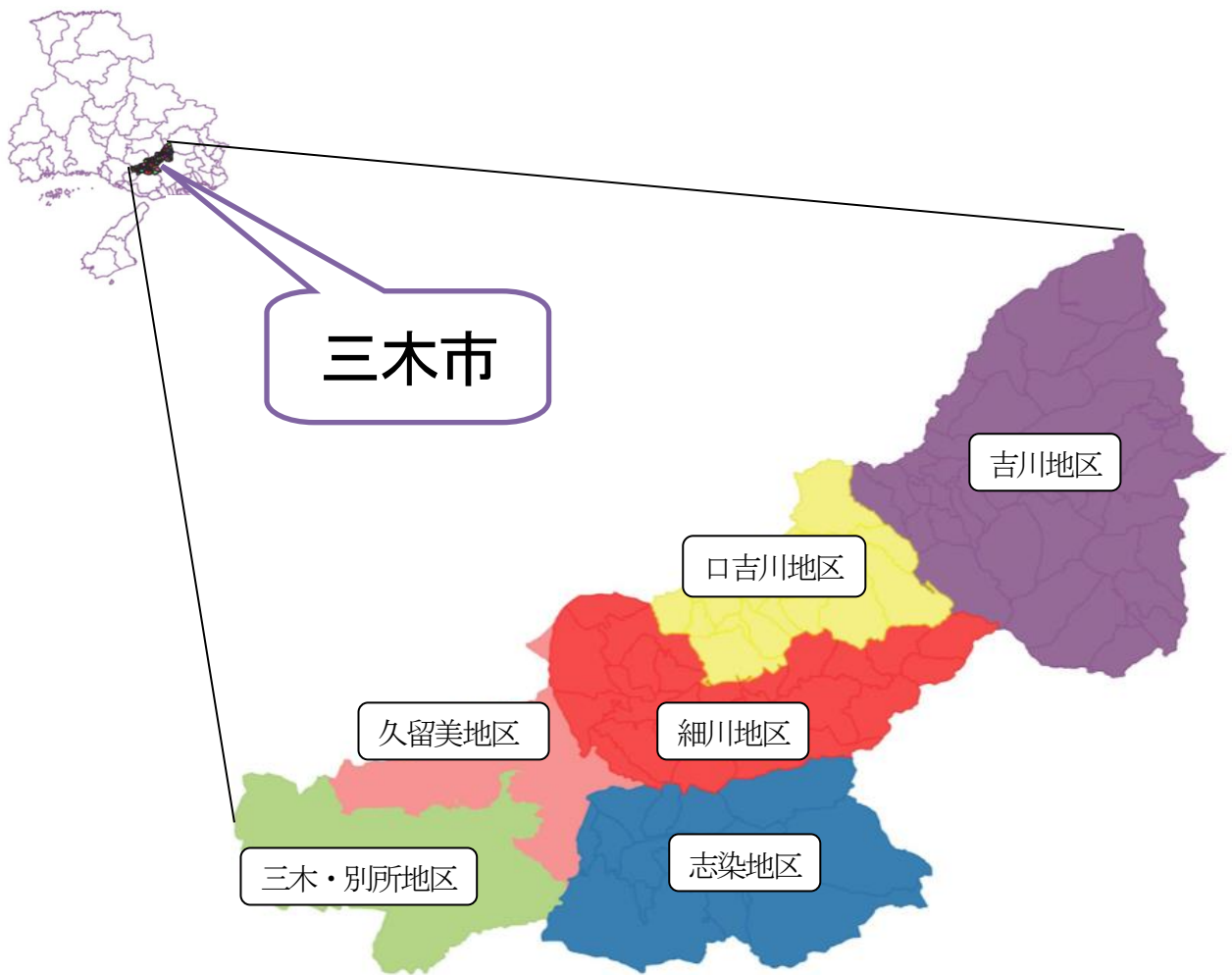
山田錦は特定の酒造メーカーと集落との間で酒米の契約を結ぶシステムができており、産地は酒米の生産・販売を、酒造メーカーは必要な酒米の確保をお互いに安定的に行っています。

令和7年1月、「山田錦生産システム」が日本農業遺産に認定され、さらなる産地の活性化が期待されています。

5 観光

三木山森林公園、三木ホースランドパーク、山田錦の館、吉川温泉よかたん、道の駅みき、道の駅よかわ など

地図



三木市山田錦生産地域では次のような農業をしています

1 主要産品

水稻が主要品目で、約 1600 戸が約 1400ha で「山田錦」を栽培しています。食用米はキヌヒカリやコシヒカリを中心に栽培されています。

2 特徴

三木市の山田錦は酒造会社との契約栽培が行われています。

大粒で米の中心に心白があり、タンパク質が少ないため至高の日本酒を生

み出す最高の原料となっています。

3 主な組織

- ・吉川町山田錦村米部会（吉川地区）
- ・三木・別所山田錦部会（三木・別所地区）
- ・三木山田錦部会（久留美・志染・口吉川・細川地区）
- ・美囊地区酒米協会
- ・三木酒米振興会

4 経営収支の目安

山田錦を栽培した場合の経営収支の目安は以下のとおりです。

- ・10a 当たりの農業収入は約150千円（@430円/kg×360kg/10a）
- ・10a 当たりの生産コスト（物財費+労働費+その他）は、諸条件によって異なりますが、経営規模別、令和5年度農林水産省の統計によりますと、
～0.5ha：216千円、0.5～1ha：173千円、1～3ha：143千円、
3～5ha：124千円、5～10ha：114千円、10～15ha：109千円となっています。
- ・上記のように、収益性が高い山田錦を生産しても、一定規模を確保しないと利益が出ず、経営が厳しくなります。

5 移住就農者の紹介

白木拓真さん（2020年就農）（就農地：三木市吉川町金会）

（広報みき 2024年9月号 特集「どうする？地域農業の担い手」より抜粋）

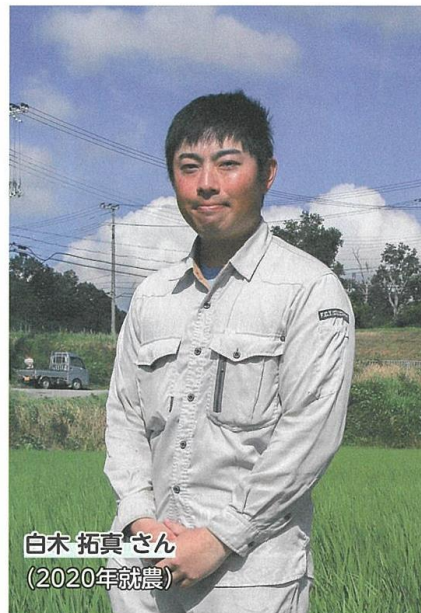
移住したきっかけは？
大学生の頃に吉川町金会で農業体験をし、農業の魅力を実感したことがきっかけでした。岐阜県出身で、そのときまで三木市や金会のことは知らなかったのですが、大学の講師や知人の紹介で初めて金会を訪れたときに、環境の良さや地域の皆さんの人柄に縁を感じ、ここで就農したいと思いました。大学を卒業後、一念発起して三木市へ移住し、親方農家の井藤さんのもとで働き始めました。

農業の経験を重ね、担当範囲を広

農業の可能性は無限大
認定新規就農者 白木 拓真さん
移住したころは10分ぐらいの農地を集めて耕作できればと考えていました。担い手は高齢化が進んでおり、いずれは世代交代が必要な状況になると感じていました。
私が農業を仕事にできると思ったのは、大きく2つの要因があります。1つは、山田錦の一大生産地である吉川町であれば農業は十分に収益が出ると考えたこと。2つめは、親方農家の井藤さんの人柄です。経営感覚に優れ、地域をまとめて上げて農地の集約化を進めたり、早くから農業機

移住就農した立場から

農業の可能性は無限大



白木 拓真さん
(2020年就農)

【主な営農地域】
吉川町金会
【主な生産品目】
山田錦、食用米

出沒したマムシを冷静に捕まえる白木くんの姿が印象的でした



受け入れ側の声

親方農家
井藤 義治 さん
(農業経験50年以上)

最初は続かないと思っていたが――

金会でも農業の担い手の高齢化が進んでおり、いずれは将来の担い手を考えないといけなかったと思っています。

知人から「農業に興味のある学生がいる」と聞いて、当時大学3年生だった白木くんの農業体験を受け入れましたが、当時は就農につながったとしても数年で帰ってしまうかもしれないという不安がありました。ところが、時間が経つにつれ、この人に金会の農地を託したいと思うほど、白木くんが地域に馴染み、農業に真剣に取り組む姿を目の当たりにしました。

将来の担い手について、金会は縁をつくることができました。大切なのは、その時が来た時に引き継げる準備を受け入れ側がしておくことだと思います。

今後の展望は？

金会では、機械化による農業を進めており、ドローンによる農薬・肥料散布やラジコン草刈機、自動運転

農業の魅力は？

現在は16畝の農地で酒米などを栽培しています。農業は自分次第で可能性が広がるのが魅力です。



▲ドローンでの農薬や肥料の散布実験の様子

トラクターなど、人力では大きな労力がかかっていた作業が機械で大幅に効率化できる時代になりました。今後は女性や体力に自信のない方を含め、誰もが農業に参加できる環境モデルをつくっていききたいです。

求める新規就農者

三木市では、歴史ある山田錦を中心とした稲作を後世に継承するため、次のような新規就農者を募集しています

- ・ 水稻（山田錦等）経営を一生の業として捧げる覚悟のある方
- ・ 水稻経営には、トラクター、田植機、コンバインなどの機械や、それらの機械を格納する倉庫等に高額な投資が必要です。

独立就農を希望する場合、

- ①親や身内の農業経営を継承できる子弟、水稻農家から機械施設を継承できる見込みのある方、機械施設導入に必要な自己資金をお持ちの方
- ②経営規模を確保する面から、地区住民とのつながりを構築されている方
- ③就農地区のルールを守り、地域行事への参加を通じて地域を盛り上げてくれる方 を募集しています。

- ・ 農業法人等で雇用就農を希望する場合は、女性や定年帰農、半農半Xなど多様な人材を募集しています。

【組織活動】

- ・ 各山田錦部会：総会、視察研修など

【地域行事と共同作業】

- ・ 草刈りや水路清掃、消防団活動、地区やJA・市等が開催する行事

就農者への支援

行政、ＪＡ、親方農家等による研修サポートを行います

- ・就農を希望される方は、三木市や加西農業改良普及センターと調整し、インターンシップ研修の実施をサポートします。
- ・インターンシップで手応えを感じ、技術習得や地域への溶け込みを希望される方は三木市、加西農業改良普及センター、ＪＡによるサポートを得ながら、親方農家を紹介させていただくなど個人ごとに研修方法を相談します。
- ・研修先が決まれば、親方農家の指導の下、栽培技術等を学びながら、地域との係わりを築いていただきます。

<親方農家の紹介>

藪西史丈さん（三木市志染町）



(1) 研修内容：

- ① 研修計画の作成・就農までの計画作成
- ② 農地の一部を活用し、模範的な生産から収穫まで模擬就農体験
- ③ 施設、道具類の適切な使用方法の習得
- ④ 機械類の操作方法の習得
- ⑤ 生産物の販売方法習得
- ⑥ 経営管理の記帳方法の習得 等

(2) 研修期間：2年間

(3) スケジュール（水稻に係る作業を抜粋）：

月	内 容
4月	ほ場準備
5月	育苗、ほ場準備
6月	田植え
7月	生育管理
8月	生育管理、防除作業
9月	収穫
10月	収穫
12月	堆肥散布
1月	堆肥散布
2月	記帳、経営の基礎について、堆肥散布

農地探しや機械・施設整備支援

・水稲経営では、まとまった規模の農地確保が必要で、特に、ハードルの高い内容です。農地を紹介してもらえるまで、地区との良好な関係を構築した後、関係機関等と情報共有しながら空き農地の確保を支援します。

・条件が合えば、農業機械等の導入に際し、市、県の支援を得ながら、国等の補助事業や融資制度を活用することができます。

その他の支援

＜三木市独自支援＞

1 農業研修に係る交通費助成

(1) 事業対象経費：自宅から三木市内で農業研修を受ける事業所までの
自家用車燃料費又は公共交通機関の運賃等

(2) 補助率：1月当たり5,000円以内（予算の範囲内）

(3) 申請者：三木市内で就農予定かつ就農準備資金を受給し農業研修を受ける者

2 移住に伴う家賃補助

(1) 事業対象経費：賃貸契約により市内の住宅を借りる月額賃料（共益費等を除く）

(2) 補助率：家賃の1/2以内。ただし、1月当たり20,000円を限度とする。（最長3年間）（予算の範囲内）

（３）申請者：市外在住の者が、三木市内の賃貸住宅に移住し、経営開始
資金等を受給する認定新規就農者

その他、国等の新規就農支援制度を紹介しながら、就農される方に最適な
就農計画の策定をサポートします。

三木市山田錦生産地域からのメッセージ

三木市内の多くの地域では、農家の高齢化や担い手不足によって、空き農地の増加や山田錦等水稻の供給量の減少が予想されています。

水稻栽培は、機械施設の導入や、まとまった農地の確保が必要になるため、ハードルは非常に高いですが、三木市、加西農業改良普及センター、JAによるサポートや、親方農家を紹介させていただくなど個人ごとに研修方法を相談します。また、独立就農だけでなく、農業法人等での雇用就農を希望される方もご相談ください。





山田錦生産者が一堂に会した集い

～今後の多様な担い手育成について語り合う～

生活（子育て）・定住支援

1 子育て支援

0歳から高校生まで医療費が無料！

子育て情報を網羅した「三木市子育て応援ハンドブック」



2 定住支援

三木の移住情報パンフレットや新生活補助金の情報



三木市山田錦生産地域での就農に興味を持った方はこちら にご連絡ください

- ・ 応援チームの連絡窓口

三木市農業振興課にお電話ください。（担当：村上、北村）

電話 0794-82-2000 メール nogyo@city.miki.lg.jp

役割分担

各山田錦部会	・ 地域への溶け込みサポート
JAみのり	・ 販売サポート
JA兵庫みらい	・ 栽培技術指導
三木市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就農相談窓口 ・ 農業支援制度、移住支援制度の情報提供、サポート ・ 応援チームの窓口
三木市農業委員会	・ 農地確保サポート
加西農業改良普及 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培技術指導 ・ 農業支援制度（県）の情報提供、調整